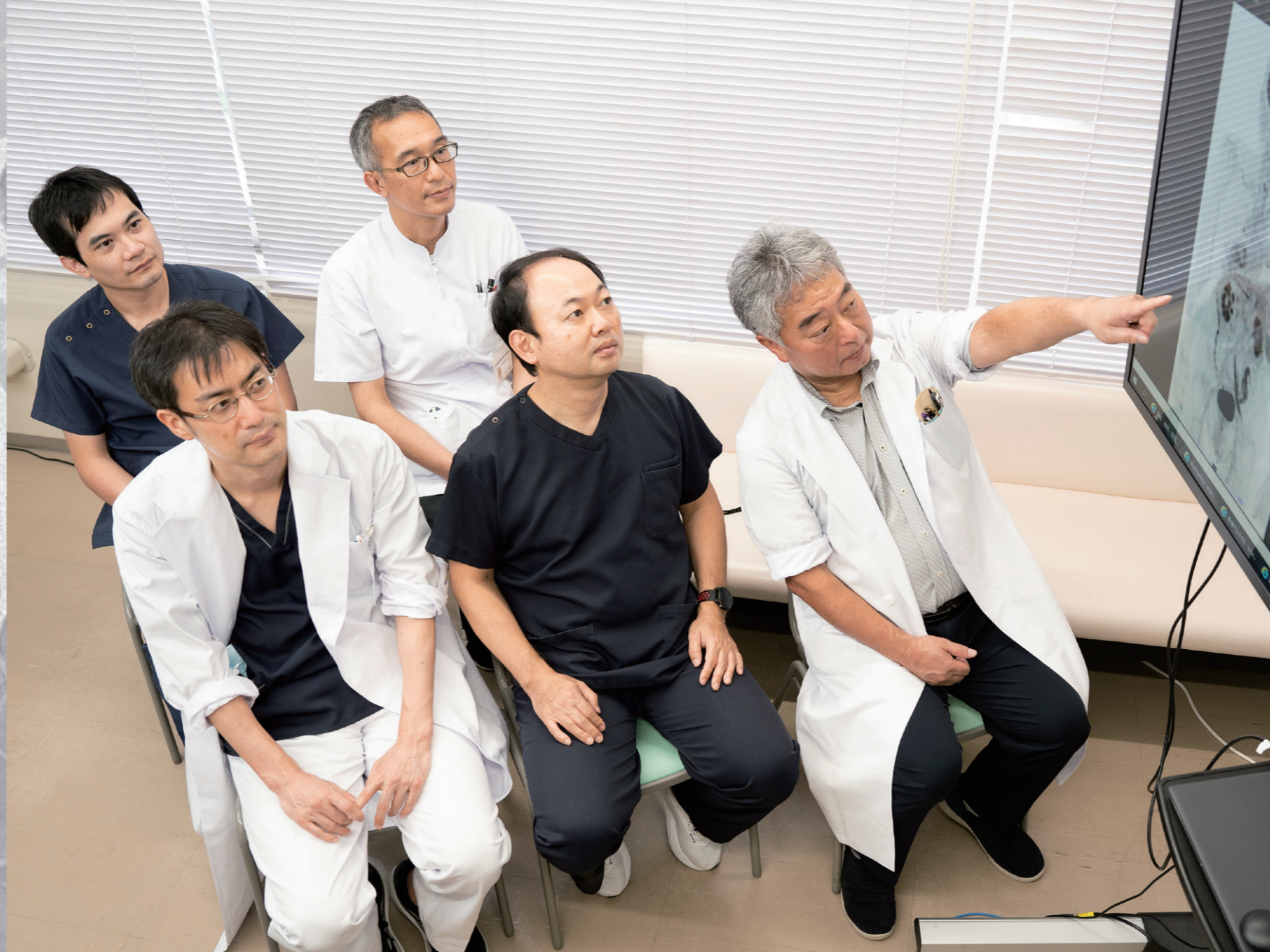


FACE



入院治療から外来治療へ向けて 地域連携と多職種協働の医療



看護師による移植後長期フォローアップ

2017年より退院後の暮らしにおける生活の質の向上のため、造血幹細胞移植後の患者さんやご家族を対象に、療養の中で不安なことを相談できる外来（Long Term Follow Up：LTFU外来）を開設しました。

様々な移植後合併症や感染症などの早期対応につなげるとともに、日常生活や社会生活へのスムーズな復帰を目的とし、医師・看護師だけでなく、薬剤師、栄養士、ソーシャルワーカーなど多職種で連携し患者さんを支援しています。

このLTFU外来では、主に造血幹細胞移植チームに所属する看護師が対応し、感染予防や社会復帰、症状のことなど、気軽に相談していただけます。



県内有数の人員体制で最適なケアを提供

2024年8月現在、当科には常勤医師5名と非常勤医師2名が在籍しています。滋賀県内でも有数の充実した体制のもと、「治癒を目指した治療」を念頭に置き、科学的根拠に基づいた医療（EBM：Evidence-Based Medicine）の中で最適な治療方針を決定します。同時にその治療は患者さんにとって「優しい治療」でなくてはなりません。化学療法に伴う副作用や合併症を抑える治療に加え、服薬指導や体力維持のためのリハビリテーション、栄養状態の管理など複数の部署が連携し対応にあたります。また、遠方にお住まいの方やご高齢の方は、病気と付き合いながら通院で治療を続けてい

くため、地域医療推進室を介してお住まいの近くの医療機関や介護施設などと連携を深めています。さらに、血液内科常勤医が在籍する病院は、大津・湖南地域に集中しており、質の高い医療を提供する県立病院として、全県下から積極的に患者さんを受け入れるとともに、地域の連携病院に当科常勤医師を派遣し外来診療を行っています。

無菌治療病棟

無菌治療病棟は、2016年のB病棟開棟とともに設置された特殊診療施設で、急性白血病や悪性リンパ腫などに対する強力化学療法や、骨髄移植などの造血幹細胞移植を受ける患者さん、そのほか極度に免疫機能が低下した患者さんが無菌的な環境

下で治療を受けるための施設です。クリーンルーム8床を有し、無菌ゾーン全体が清浄な空間になるように管理され、廊下を利用したリハビリテーションも可能です。また病窓からは琵琶湖湖畔や近江富士を望むことができ、長期入院の患者さんにも心の安穩が得られる環境となっています。

より良い治療の確立に向けて

都道府県がん診療連携拠点病院として、造血器悪性腫瘍に対するより良い治療・診断の確立に寄与するという目的で、「京大関連病院臨床試験」、「成人白血病治療共同研究機構（JALSG）」、「日本臨床腫瘍研究グループ（JCOG）」など、全国レベルの多施設臨床共同研究に参加しています。多施設

が参加する臨床試験では多くの症例が比較的短期間で登録されるため、新しい治療の有用性の検証に大きな利点があります。これらの臨床研究で得られた成果を当科での治療に活用しています。



骨髄造血幹細胞採取術の様子
全身麻酔下で骨髄移植ドナーから造血幹細胞を採取しています

好奇心が導いた血液内科の革新

幼少期より好奇心が旺盛で、興味を持ったことにはすぐにのめり込んでしまう性格でした。最近ではゴルフなどのスポーツに加え、寺社仏閣・美術館巡りなどを楽しんでいます。趣味に没頭することで良い気分転換となり、仕事にも好影響が得られていると感じています。

私が医師となった頃は、血液内科は独立した単科ではなく内科の1分野として治療が行われていました。現在のようない疾患毎のガイドラインもなく、限られた抗がん剤だけで戦わざるを得ない発展途上の領域でした。その不透明で未知な部分が私の好奇心を刺激し、血液内科医を目指すようになりました。1990年代に造血幹細胞移植療法が始まり、2000年以降分子標的薬など様々な新規薬剤が開発されました。近年では新たながん免疫療法が登場し、治療成績は格段に向上しています。疾患によっては、かつての「不治の病」とされた時代から「天寿全う」を目指す時代となりました。このような変遷を血液内科医人生の中で経験できたことを大変幸せに思っています。

血液内科 科長
主任部長

浅越 康助



京都大学医学博士
日本血液学会 専門医・指導医
日本がん治療認定医機構 がん治療認定医
日本内科学会認定医
インфекションコントロールドクター (ICD)
2010年より当院に就任
兵庫県神戸市出身

Information

オープンホスピタルの開催決定!

令和6年10月20日(日) 10:30~15:00

採血体験、車いす体験といった病院ならではのコンテンツを多数企画中です。詳細はホームページにて随時お知らせ予定です。



ご意見・ご感想募集

滋賀県立総合病院広報誌「FACE」へのご意見やご感想をぜひお寄せください。お住まい、年齢、ご意見・ご感想を下記フォームよりお送りください。

滋賀県立総合病院の広報誌
「FACE」に関するアンケートフォーム



心のふれあいを大切にして安全で質の高い医療福祉を創生し提供する。

 **滋賀県立総合病院**
Shiga General Hospital

〒524-8524 滋賀県守山市守山5丁目4番30号
TEL.077-582-5031(代) / 0570-00-5031(ナビダイヤル)
[診療受付時間] 午前8時30分~午前11時 ※2科受診の患者様を除く
[休診日] 土曜日・日曜日、祝祭日/年末年始(12/29~1/3)
<https://www.pref.shiga.lg.jp/kensou/index.html>

滋賀県立総合病院

病院HP



FACE

滋賀県立総合病院広報誌

発行：滋賀県立総合病院広報委員会(事務局総務課)
発行日：2024年8月

バックナンバーも
ご覧いただけます

